

塩崎 雄 大議員



- (一般質問)
- 1 ICT教育について
 - 2 西条商店街が抱える課題について

小・中学校での

ICT活用状況は？

問 本市は全国に先駆け、ICT教育を推進してきましたが、保護者からは、活用がうまくできていないことについて、一部不安の声が上がっている。

教育現場では、児童・生徒及び教職員が、ICTを効果的に活用できているのか。

答

本市の小・中学校には、タブレット端末、電子黒板、指導者用デジタル教科書、校務支援システム、グループウェア、テレワークシステムなどが導入されている。



タブレット端末を使用した授業

児童・生徒においては、電子黒板やタブレット端末を用いることにより、理解度が高まるだけでなく、新たな発見や達成感につながることもあり、満足度は高いものと認識している。

教職員においては、本市の特徴でもあるテレワークシステムにより、業務の負担が軽減したとの意見も多い一方で、実際の授業における機器の活用に負担を感じている職員もいると聞いている。

今後は、現状を正しく把握するため、教育用グループウェアなどの機能を用いて定期的に実態調査を実施し、さまざまな意見を拾い上げ、教育現場に反映したい。

ICT支援員の再配置を！

問

本市では、以前、各校を訪問して指導や研修などを行うICT支援員を配置していたが、現在は配置されていない。

文科科学省は、授業支援、校務支援などにICT支援員が必要不可欠とし、4校に1名の配置を推奨しており、近隣自治体でもICT支援員が配置され、細やかな支援が行われている。市は、再配置の必要性についてどのように認識しているのか。

答

本市では、平成27年度から小学校、平成28年度から中学校において、他市に先駆けて電子黒板などの整備を開始したのに合わせ、ICT支援員として、専門の巡回支援員8名を配置していたが、一定の基礎的推進が図られたことから、令和元年度をもって配置を終了している。

令和2年度には、児童・生徒にタブレット端末が配備され、令和3年度に同端末に各種ソフトウェアが導入されたことから、同年度に教職員へ



相談対応するICT教育指導員

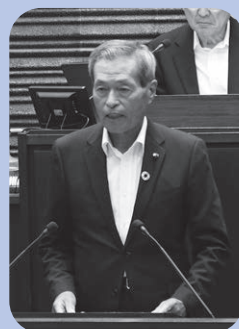
の巡回研修、指導などを行うアプリ指導員1名を配置した。現在は、活用対応やヘルプデスクとして機能するICT教育指導員を学校教育課内に2名配置し、相談対応を行っている。

多くの教職員から再配置の要望があることは把握しており、子どもたちの教育環境を重視する上において、ICT支援員の必要性は一定認識しているところである。

今後は、再配置について検討を進めるとともに、習熟度に応じた教職員研修サポート体制や教職員間での知識や活用方法の情報共有も図りながら、個々のスキルアップを目指し、ICT教育体制の維持向上につなげたい。

自民クラブ

白坂 均 議員



- (一般質問)
- 1 生活習慣病について
 - 2 市内河川の洪水対策について

心不全の発症・重症化の
予防に向けた取組を！

問

心不全をはじめとする重大疾患の多くは、悪化の要因に高血圧、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病が挙げられる。過度な飲酒や塩分摂取を避ける、肥満を解消する、適度な運動を行うなど、生活習慣の見直しが必要であると考えますが、心不全の発症や重症化を予防するために、どのようなことに取り組んでいるのか。